令和７年度

運 営 方 針 ・ 事 業 計 画
予 算 書

社会福祉法人 真光会

三和荘・出水・三和苑

令和７年度　社会福祉法人真光会　運営方針

Ⅰ　はじめに―真光会の目標

（１）真光会の使命（ミッション）

創設者が「教育」を通して社会に働きかけてきた精神を高齢者福祉に活かし、高齢者の人生と高齢者を取り巻く人的・物的な環境とをよりよい状態にしていくことによって、

① 高齢者の生きる力を支え（自立支援）

② 高齢者の生きる誇りを守り（個性や尊厳の保持）

③ 高齢者と生きる喜びを共にし（人間信頼）、

もって地域社会の福祉に貢献する。

（２）真光会の基本理念 ～「三つの和」～

① 利用者との和 （サービスの品質の確保）

② 地域との和 （地域との連携）

③ 職員の和 （職員の協働）

（３）サービスの基本方針

① お年寄りの一人ひとりを大切にします。（基本姿勢）

② お年寄りに心優しく接します。（ケアのあり方）

③ お年寄りに充実した楽しい生活を提供します。（サービスの目標・内容）

Ⅱ　Purpose（私たちの存在意義）

ともに笑い、想いを大切にするケアで地域に必要とされる場所になる。

Ⅲ　真光会経営方針

私どもは上記本法人の目標を踏まえながら､次の各項の方針のもとに地域福祉事業を展開しております。

1. 「公共性」「非営利性」「安定性（継続性）」といわれる社会福祉法人の責務を全うする。
2. ご利用者の「安全である」「知らされる」「選択できる」「意見が反映される」という権利を大切に守り、サービス面では「自立支援」「尊厳重視」「個別対応」という介護福祉の目標を実現する。
3. 科学的な介護を実践し、認知症への理解と適切な対応を行う。
4. 医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的有機的連携による地域包括ケアの実現に努める。
5. 地域との連携や地域貢献を進め、制度の谷間に苦しむ人の支援など、地域公益的事業の展開にも努力する。

Ⅳ　令和７年度の重点目標

前年度は本体事業の開設から３０周年という節目の年でしたので、これまで多くの高齢者に提供し続けてきた事業を振り返りながら、改めて真光会の社会的存在意義を明らかにするために、「ともに笑い、想いを大切にするケアで、地域に必要とされる場所になる」という「パーパス（自社の社会的意義や志）」を創りました。今年度は真光会の「三つの和」の理念と共に、このパーパスを意識した運営を行い、これまで以上に地域から必要とされる施設になれるように全職員が一丸となって努めてまいります。

【具体的重点目標】

１．ご利用者満足度の向上

ご利用者の満足度を高めるために、ご利用者の「笑顔」と「想い」を大切にしながら、日々のサービスを提供できるようにします。そのために、日常のイベントや行事等の充実に加え、「LIFE の活用等による科学的な根拠に基づいたケア」や、ノーリフティングケアを中心とした「ご利用者の重度化を予防するケア」を実践することで、質の高いサービスを提供できるように努めます。

２．職員の資質向上

サービスの質を高めるためには、職員の資質向上が欠かせません。そこで、それぞれの研修が効果的なものになっているのかを適宜検証しながら、採用時・階層別・法人内研修等による教育体制・人材育成の充実に力を入れます。また、資質向上の前提として、個々の職員の心身の健康を保つことが重要ですので、健康管理・支援等による職員の心身における健康の増進にも努めます。同時に、日々のサービスを提供する職員にとって「やりがい」を感じることができる環境作りにも力を入れたいと思います。また、今年度は外国人技能実習生の 2 期生を迎えますので、その定着・育成にも努めます。

３．ICT の活用等による生産性向上

これまでの既成事実にとらわれることなく、随時業務内容を見直し、無駄を省いたり ICT 等を活用したりすることで、業務の効率化・生産性の向上を図ります。そして、それぞれの事業所の必要性や ICT 等の利活用状況に応じて、ICT 等の環境整備を進めていきます。最終的には、ご利用者へのケアの充実と時間外労働の削減で「やりがい」や「ワークライフバランス」の向上を目指します。

４．人材確保に向けた取り組み

ホームページやＳＮＳを活用して施設の良さを広く伝えられるようにします。また、お仕事説明会を開催したり短時間の就労者を募ったりすることで、多様な働き手が活躍できる場を作れるように努めます。併せて、高齢や腰痛の方でも容易に働ける環境づくりを推進します。近年、若い人材の入職も増えていますので、組織の活性化にも力を入れたいと思います。

５．その他

秋祭り、グラウンドゴルフ大会、凧揚げ大会等の各種イベントを通じて三和荘へ足を運んでもらい楽しんでいただくことで地域との交流を深めます。また、自治会等とも連携し、災害時の対応等についての連携も強化します。

非常災害（感染症・自然災害）が発生した場合に備え、適宜業務継続計画（ＢＣＰ）を見直すことで、実態に応じた対応ができるようにします。また、昨年度は感染症が施設内で流行することはありませんでしたので、今年度もスタンダード・プリコーション（標準予防策）による感染症対策を継続しつつ、ご利用者が安心して生活できるようにします。その上で、少しずつコロナ禍前の日常への完全な復帰に近づけていけたらと思います。

また、中長期的な計画の下でナースコール等の設備の整備や施設のメンテナンスも適宜行いつつ、太陽光パネルの設置など高騰する光熱費の抑制策についても具体的に検討したいと思います。

事業所別事業計画

【特別養護老人ホーム三和荘・三和荘短期入所生活介護事業所】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）目標利用率等　95%・40%

目標及び取組方針

ご利用者が安心してサービスを利用できる環境を提供するため、個人のニーズに合わせたケアを実現します。LIFEを用いて科学的根拠に基づいたケアを実践し、ノーリフティングやポジショニング、シーティングなどを活用することで、身体的負担の軽減と生活の質向上を目指します。また、ご利用者やご家族との定期的な意見交換を通じてサービスの改善に反映します。さらに、職員のコミュニケーションスキル向上にも力を入れ、ご利用者やご家族との信頼関係を強化することで、より満足度の高いサービスを提供します。

職員の資質を向上させる

目標及び取組方針

職員一人ひとりのスキルや専門知識を磨くために、職員のレベルに応じた役割を明確にして責任を持たせることや研修等を通じて、個々の職員の能力を高め、組織全体の質を向上させます。また、内部評価制度を用いて職員の成長を視える化することで、モチベーションアップに繋げます。さらに、身体的・精神的負担を軽減するために職場環境を整え、健康管理やワークライフバランスの支援を充実させます。これにより、職員が高い意欲をもってサービスの質の向上に貢献できる体制を築きます。

ICTの活用等により生産性を向上させる

目標及び取組方針

ICTを活用することで、業務の効率化と職員の負担軽減を目指します。より具体的には、情報の一元化と作業の簡略化を進めるためにICT教育を推進し、職員のスキル向上を図り、新システムを活用した業務改善の意識を高めていきます。また、ペーパーレス化を進め、業務時間の有効活用を行うなどにより生産性を向上させ、ご利用者の支援やケアの質の向上に多くの時間を充てられる体制を構築します。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	新緑ドライブ	１０月	運動会 地域の運動会見学
５月	鯉のぼり見学	１１月	紅葉ドライブ
６月	父母の会・家族会 紫陽花ドライブ	１２月	餅つき忘年会
７月	そうめん流し	１月	初詣
８月	スイカ割り・かき氷	２月	節分（豆まき） 梅見ドライブ
９月	敬老会	３月	桜花見ドライブ

月1回：映写会・喫茶さんわ・編み物クラブ　　毎週水曜日：カラオケ
随時：小グループ活動（製作・散歩・外出行事等）

【三和荘通所介護事業所】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）　目標利用率等　90%
目標及び取組方針 ご利用者の『我慢していること』を失くします。現在ご利用者が抱える大小さまざまな『我慢』を、日頃の関わりやアンケートを実施して把握します。日頃から要求をして下さるご利用者の意見だけでなく、普段あまり発信をされないご利用者の気持ちに、今まで以上に寄り添っていきます。そのためには、普段からの接し方や信頼関係が今まで以上に必要となります。チーム全体で『我慢を失くす』ことを共通目標にして、傾聴や必要な情報の収集について考え学習し、実践に繋げます。

職員の資質を向上させる
目標及び取組方針 上記目標に関連付け、ご利用者の様子や些細な変化に気が付ける職員になるように指導や研修を行い、ご利用者との関わりの中で、やりがいを感じられる環境にします。 ご利用者との関わりを今まで以上に深く、広くすることで、ご利用者との信頼関係を今以上に築けるようになります。そこから本当にご利用者の為になる事を実行することで、職員それぞれが存在価値を感じることができ、それがやりがいに繋がるような良い循環が出来る環境を築きます。

ICTの活用等により生産性を向上させる
目標及び取組方針 現在、電子記録やInstagramなどの活用を行っていますが、まだまだ十分な活用には至っていません。Instagramの活用については、現在操作できる職員が少数で、更新に時間がかかります。年齢に拘わらず、使い方のレクチャーや、大勢の目に触れる様な工夫をチーム全体で実施します。電子記録は、タブレットやPC端末の数には限りがあるため、記録の時間を区切ったり、音声入力を活用する等で時間の効率化を図ります。また、有線接続で行う方が短時間で済む業務（請求業務等）があるため、有線接続が出来る環境で作業ができるようにすることも視野に入れて効率化を図ります。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月		１０月	運動会
５月	父母の会	１１月	蜜柑山ドライブ
６月	あじさい見学	１２月	忘年会・餅つき・皆勤賞表彰
７月		１月	初詣 凧あげ
８月	夏祭り	２月	節分行事
９月	敬老会	３月	お花見

※毎月買い物支援実施します

【グループホーム三和の邑】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）　目標利用率等　91%
目標及び取組方針 ご利用者・ご家族が安心して入居できる、またお預かりさせて頂く精神を持ちながらサービスに取り組んでいきます。その為にもご利用者に対する根拠を持ったケアが行なえるように今年度もPDCA・OODAサイクルを徹底して参ります。また、ご家族への定期的な連絡を行い、グループホームの評価や意見を求めながら満足度を向上させていきます。さらに、施設内外の活動を活発化させ毎月の決まった行事だけではなく、お一人おひとりの希望に合わせた外出等も可能にしていける様に計画していきます。また入居率・稼働率を常に安定させるために、施設の魅力を伝えるなどの営業活動も積極的に行います。その際には、見学者等から接遇や環境面などの良い評価が頂けるように徹底してまいります。

職員の資質を向上させる
目標及び取組方針 在職年数の長短に関係なく、活動実践や接遇、認知症ケアに対する学びを自ら行っていく職員が評価される職場風土を目指します。また、会議での発言しやすい雰囲気や職員同士がその場で意見を言い合える、また上司からの考えや報告をトップダウンさせるだけでなく、新入職員からでもやりたい事・してみたい事を引き出せる関係性作りやチームワークの構築を図っていきます。

ICTの活用等により生産性を向上させる
目標及び取組方針 グループホーム会議の議題で、毎回必要ではない・改善できて業務の効率化が図れる仕事内容などを職員皆で話し合い、それに伴い空いた時間などをご利用者との関わりの時間や外出行事などに有効活用していきます。また、今まで毎月ご家族への手紙として利用状況等を請求時に同封していたものを、活動風景などの動画を撮影し、今のご本人の状態をタイムリーに報告していきます。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	お花見ドライブ	１０月	運動会
５月	家族会 運営推進会議	１１月	秋の味覚会 運営推進会議
６月	紫陽花ドライブ	１２月	クリスマス・忘年会
７月	七夕 運営推進会議	１月	初詣 運営推進会議
８月	夏祭り	２月	節分 梅見ドライブ
９月	敬老会 運営推進会議	３月	運営推進会議 事業報告

【三和荘訪問介護事業所】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）　目標利用率等　150件/月
目標及び取組方針 ご利用者一人ひとりのニーズや状況に応じたサービスを提供するために、常に傾聴の姿勢で円滑なコミュニケーションが図れる環境作りや、ご利用者のペースに合わせた支援を提供します。 また、あらゆるリスクを想定し冷静な対応ができることを意識しながら、病気やケガ、感染症においてもご利用者の状態を細かく観察したり、閉じこもりを防ぐなど安定した日常生活を送れるような支援を心がけます。

職員の資質を向上させる
目標及び取組方針 自立のための支援であることをご利用者やそのご家族に説明し、担当ヘルパーにもその意味を理解してもらうため、年間を通して行う勉強会で基本的な知識を学びながらスキルアップを目指し、ご利用者が望む安全安心で質の高いサービスを提供します。ご利用者の状態やサービス状況についても、「報・連・相」の重要性を理解し、他の関係機関と連携を図りながらご利用者にとってベストな支援体制を目指します。

ICTの活用等により生産性を向上させる
目標及び取組方針 職員のライフスタイルや健康維持の促進を図り、職員間のコミュニケーションも大切にし、適切な休息がとれるような環境をつくることで、勤務時間中には業務に集中でき、作業効率を向上させることを目指します。また、業務の効率化や改善点について適宜話し合い、目線を合わせたケアを提供できるように取り組みます。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	事業所年間計画・取り組み	１０月	認知症ケアに関する研修
５月	防災・救急法に関する研修	１１月	調理実習
６月	食中毒・感染症対策に関する研修	１２月	BCP机上訓練
７月	調理実習	１月	BCPに関する研修
８月	虐待防止に関する研修	２月	リスクマネジメントに関する研修
９月	コミュニケーションと接遇に関する研修	３月	一年間の反省・まとめ 次年度の取り組み検討

【三和荘居宅介護支援事業所】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）　目標利用率等　105件/月
目標及び取組方針 　自立支援と重度化予防を目標としたケアマネジメントを行うことで、ご利用者の自己実現やＱＯＬの向上につなげます。 　ＩＣＦの考えに基づいたケアマネジメントを実践するために、ＩＣＦの手法や適切なケアマネジメント手法などを学び、ケアマネジメント力の向上に努めます。

職員の資質を向上させる
目標及び取組方針 　介護支援専門員に必要な知識や技術を高めるために、研修会や自学にて、常に情報を収集し、事業所内で情報共有を図りながら、全職員のレベルアップに努めます。 　複数の疾患を抱える医療ニーズの高い高齢者、認知症高齢者、独居高齢者、複数の課題を抱えるご家族など、多様化・複雑化するケースに適切に対応できるよう、研修会や事例検討会に参加し知識を深めていきます。

ICTの活用等により生産性を向上させる
目標及び取組方針 　各担当ケアマネジャーが不在時でも、適切なサービス調整や緊急時に対応できるよう、毎週居宅会議を開催し、随時情報共有を行いながら、ご利用者やご家族の状況を把握します。 　各種マニュアルに基づきながら業務を遂行し、定期的に見直しを行いながら、統一した業務が出来るようにします。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	年間計画 接遇マナー	１０月	高齢者虐待対応 認知症
５月	ＢＣＰ（災害） 机上訓練　見直し	１１月	ＢＣＰ（感染） 机上訓練　見直し
６月	合同勉強会 障害福祉サービス	１２月	合同勉強会 ヤングケアラー
７月	ＡＣＰ ハラスメント予防	１月	権利擁護
８月	緩和ケア	２月	医療との連携
９月	合同勉強会	３月	合同勉強会

【熊本市西１地域包括支援センター　高齢者支援センターささえりあ三和】

ご利用者の満足度を向上させる　「住みよい三和圏域を目指します」

目標及び取組方針

地域の高齢者が住み慣れた地域でできるだけ長く生活できるよう支援します。具体的には、集いの場の継続支援を軸とした介護予防の普及啓発を進めるために、地域と日頃からの関わりを濃くすることで関係性を強くします。また、相談ごとにニーズを的確に把握し、適切なサービスや制度に繋ぐために、各専門職で協議を行います。権利侵害の予防や対応を実施し、尊厳ある生活を支援するため、研修会への参加や関係機関との連携にも努めます。

職員の資質を向上させる　「対応力向上に努めます」

目標及び取組方針

日頃の実践を通した専門知識や専門的見解などの共有および各専門的視点からの協議は、各職員の実践力の向上に直接結びつきます。今年度は毎月一回開催する事業所会議にて、ケースの振り返りを担当制で実施します。また、必要性に応じて外部研修などに参加する機会を公平に設けるとともに、それらの研修で得た知識や技術をチームで共有します。

ICTの活用等により生産性を向上させる　「FAX使用を削減します」

目標及び取組方針

データで管理できる作業はこれまでも移行してきましたが、事業所内に限られたことが多くを占めています。今年度は関係機関との連携についてもペーパーレス化を推進するため、FAX使用を出来る限り削減します。メールやクラウドを活用するため、職員の意識統一や関係機関への理解周知、介護ソフトの有効活用等に努めてまいります。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	年間計画　担当決め　鯉のぼり設置	１０月	
５月	三和便り発行　鯉のぼり撤去	１１月	三和便り発行　城山ウォーキング
６月		１２月	
７月		１月	
８月	三和便り発行	２月	三和便り発行　味生祭
９月	地域運営協議会・協議体	３月	地域運営協議会・協議体

【三和荘ケアハウス】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）　目標利用率等　92%
目標及び取組方針 ご利用者に明るい挨拶と声掛けをするなど、接遇面が更に良くなるように努めます。 また､ご利用者の体調の変化にすぐ気づけるよう日々の様子を細やかに観察にすることで病気等の早期発見ができ、身体機能の悪化を防げるようにします。また、相談がしやすいような関係を築き支援をすることで、ご利用者の心理面での不安を払拭し、安心して生活が送れるようにサポートします。 また、ご利用者が楽しめるクラブ活動内容や行事を増やすことで、ご利用者の生活の充実と心身機能の維持向上を図り、いつまでも楽しみもって活き活きと生活ができるように支援します。

職員の資質を向上させる
目標及び取組方針 ご利用者や来荘者に対する接遇を向上させ、また認知症のご利用者への対応力を高めるために、積極的に外部研修等に参加します。また、他事業所での現場研修を行うことで、認知症に対する理解を深め、その対応力を強化します。

ICTの活用等により生産性を向上させる
目標及び取組方針 現在は手書きを中心に行っている記録等の入力にタブレットを活用することにより作業効率を上げ、転記等の無駄を省くようにします。タブレットを活用することで、他の職員が同時にPC作業を行えるようにもなり､各自の担当業務をしたいときにできるようにすることで時間の効率化にも繋げます。他にも、適宜、業務の見直しや改善を行うことで、業務の効率化を図ります。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	岬鮨 映写会	１０月	ドライブツアー 映写会
５月	健康診断・菖蒲湯・母の日の会 ドライブツアー・映写会	１１月	秋祭り・防災訓練 映写会
６月	父の日の会 映写会	１２月	忘年会・ゆず湯 餅つき
７月	七夕 映写会	１月	ドライブツアー 映写会
８月	納涼会(かき氷) 映写会	２月	節分豆まき・岬鮨 映写会
９月	敬老会 映写会	３月	ドライブツアー・防災訓練 映写会

【デイサービスセンター出水】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）　目標利用率等　90%
目標及び取組方針 ご利用者一人ひとりの生活背景や希望に寄り添い、その想いを大切にしながらサービスを提供します。LIFEを活用し、個々のご利用者の応じた効果的なプログラムを実施します。ADLの維持・向上を支えるため、身体機能の低下を防ぐ訓練を計画します。季節行事や趣味を活かしたレクリエーションを通じて、年間2回以上の地域交流イベントを実現し、地域への発信を促進します。ご利用者満足度アンケートを半期ごとに実施し、90%以上の高評価を目指します。

職員の資質を向上させる
目標及び取組方針 職員のスキル向上を図るため、法人内研修に意欲的な姿勢で参加します。学んだ内容はデイ会議で共有し、質の高いサービスにつなげます。業務で発生した課題もデイ会議で議論し、チーム力を強化します。職員満足度アンケートを半期ごとに実施し、80%以上の肯定的評価を目指します。職員がやりがいを感じられるよう、目標管理シートを活用して目標達成へのサポート体制を強化します。職員の働きやすさを向上させるため業務の負担を分担し、その効率化を図ります。

ICTの活用等により生産性を向上させる
目標及び取組方針 パソコンやタブレットの活用を促進し、効率的な記録管理とデータ共有を推進します。それらを活用した記録業務について、職員の習熟度を向上させ、年度内に90%以上の職員がスムーズに操作できる状態を目指します。ICT活用状況アンケートを半期ごとに実施し、習熟度や課題を把握します。LIFEを活用し、ご利用者データを半期ごとに分析してサービスを改善します。介護ソフト「ほのぼの」の操作研修を毎月実施し、業務効率化と情報伝達の正確性向上を図ります。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	桜花見ドライブ	１０月	運動会
５月	鯉のぼり見学、母の日	１１月	銀杏ドライブ
６月	父の日	１２月	ゆず湯、クリスマス忘年会
７月	七夕飾り	１月	初詣、七草粥
８月	夏祭り	２月	節分
９月	敬老会	３月	梅見学

【三和苑デイサービスセンター】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）　目標利用率等　90%
目標及び取組方針 かかわりを通して、お一人おひとりの想いや考えを私たちが深く理解するように努めます。「関わりケア」をもとに、それぞれの「ツボ（ニーズ）」を見つけ、満足度向上へ繋がるようケアを進めていきます。利用率９０％を目指す為に、自分たちに何が必要なのかを、現状を考え、振り返りながら取り組んでいきます。また、ご利用者が自己発揮できる場所になり、新たにやりたい事に取り組むことで、豊かな自己の能力や個性を実現できるように努めます。

職員の資質を向上させる
目標及び取組方針 基本の挨拶、適切な距離感、感受性（理解力）を定期的に再理解する機会を設けます。ご利用者に丁寧な言葉遣いや対応を行い、「初心を忘れず」に安全・安心・信頼関係の構築に努めます。職員間でも同様に、よりコミュニケーションを図ることで、情報の共有にも繋げます。 役割の細分化･明確化を図り、個々の考えを実現します。職員が負担に感じていること把握して、早期に解消・軽減し、お互いの弱点を補完し、個人では達成が難しい業務を皆で力を合わせて成し遂げることで、職員相互の良い関係に繋げます。職員が活き活きと満足して働ける環境を整備し、職員個人のさらなる能力、意欲、資質の向上が図れる体制を構築していきます。

ICTの活用等により生産性を向上させる
目標及び取組方針 介護記録や事務処理等の活用をすすめて、ペーパーレス化を図ります。また、勤務体制の多様化に合わせた情報共有の強化にも努めます。同時に、職員の意見を互いに尊重し合い、新たなこと・何ごとにも挑戦する気持ちで取り組もうとする職場環境を自分たちで構築します。まずは、現在の業務の見直し・年休取得・働き方を皆で考えていきます。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	桜花見ドライブ	１０月	運動会・十五夜行事
５月	端午の節句・母の日の集い 薔薇見学	１１月	みかん山・紅葉ドライブ・勉強会
６月	紫陽花見学・父の日の集い	１２月	クリスマス会・忘年会
７月	七夕行事・勉強会	１月	初詣・正月行事
８月	夏祭り	２月	節分行事
９月	敬老会	３月	雛祭り行事

【三和荘事務部】

ご利用者の満足度を向上させる（サービスの質を向上させる）

目標及び取組方針

ホームページを通じてご利用者との接点を強化し、利便性を向上させることで、満足度や信頼度を高め、サービスの質の向上を目指します。サービス内容や料金プラン、イベント等の情報をタイムリーに更新し、施設の見える化（透明性の確保）を図ります。また、昨年度から開始したＳＮＳを活用し、登録者へ定期的な情報を発信し、双方向のコミュニケーションの促進に努めます。

職員の資質を向上させる

目標及び取組方針

職員一人ひとりの能力やスキルを向上させ、業務の効率化や質の向上を図るとともに、職員の成長を支援することで、組織全体の活性化を目指します。法令・規則の最新情報（育児や介護、所得税法等）や法人・事業所の諸規定を全員が学ぶことで、職務に必要な専門知識の習得、チーム力向上を図ります。また、改正内容を分かりやすく全職員に周知し、円滑に職場環境を整えていきます。

ICTの活用等により生産性を向上させる

目標及び取組方針

パソコン内のデータや事務所内の書類やモノといった周辺環境の整理を通じて、業務効率の向上を目指します。いつでも必要なときにすぐ取り出せる状態にしておくことで、効率化・時間の短縮に繋げます。部門ごとにフォルダ構築の見直しを図り、事務所内での情報の共有を促進します。また、紙で保管している書類については、必要に応じてデジタル化を図り、収納スペースの見直しを行います。

月	行事等予定	月	行事等予定
４月	各退職共済の基準給与算定基礎届・ 掛金納付対象職員届提出	１０月	就職セミナー出展（予定）
５月	監事監査・理事会 福祉医療機構退職共済掛金納付	１１月	内部監査
６月	評議員会・理事会 現況報告提出 財産登記・変更登記 損益計算書提出	１２月	年末調整 賞与支払届提出
７月	賞与支払届・算定基礎届・月額変更 高卒求人公開 労働保険年度更新	１月	次年度事業計画及び予算調整 給与支払報告・法定調書合計表提出
８月		２月	育成面談・人事考課
９月	理事会 高卒採用試験	３月	理事会 賞与支払届提出

【職員研修】

月	法人内研修（全体研修）	対象者別研修	対象
4月		新任職員研修（4 日間）	新任職員
	防災教育　接遇マナー向上 取組内容発表		全職員
5月	感染症及び食中毒の予防について 救急法		全職員
6月	事故発生防止 決算報告		全職員
7月		主任研修	主任
	身体拘束等の適正化について 業務継続計画（BCP）		全職員
8月		副主任研修	副主任
	権利擁護 高齢者虐待防止		全職員
9月		専門指導職研修	専門指導職
	事故発生防止 ハラスメント防止対策		全職員
10 月	身体拘束等の適正化について 業務継続計画（BCP）		全職員
		定年前セミナー	対象者
11 月		主任研修	主任
	感染症の予防について 利用者のプライバシー保護について		全職員
12 月		副主任研修	副主任
	権利擁護 高齢者虐待防止		全職員
1 月	取組発表（前半の部）・講評		全職員
		専門指導職研修	専門指導職
2 月	取組発表（後半の部）・講評・総評		全職員
3月		主任研修	主任
	事業計画・予算		全職員

2025 年度　災害対策・安全衛生管理・設備保守点検

目標	具体的目標		項目	拠点	具体的行動計画												備考
					4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
災害対策	①	非常災害教育（研修）	①防災教育	全体	○												
			②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止			○						○					
			③業務継続計画（BCP）					○			○						
	②	非常災害訓練	①火災	全体													※サービスによって必要頻度が異なる為事業所毎に実施
			②洪水及び土砂災害														
			③感染症及び食中毒の予防及びまん延防止														
			④業務継続計画（シミュレーション）														
安全衛生管理	①	浴場機器管理	①循環浴ろ過装置機器点検	三和荘	○			○			○			○			
			②温水ヒーター機器点検				○						○				
			③循環浴配管洗浄					○									
			④循環浴ろ過装置ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ（1 回/3 年毎）														※R9 年度予定
			⑤循環浴レジオネラ菌水質検査					○						○			
	②	井戸水衛生管理	①浄水水質検査	三和荘	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○9 項目、◎50 項目
			②原水水質検査		○			○	◎		○			○			○9 項目、◎39+指標菌
			③浴場レジオネラ菌水質検査（特養）				○						○				
			④井戸水ろ過装置機器点検		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			⑤井戸水ろ過装置ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ（1 回/7 年毎）					○									
	③	給排水設備管理	①受水槽・ポンプ点検	三和荘											○		
			②受水槽清掃												○		
			③受水槽水質検査												○		
	④	電気保安管理	①保安点検	三和荘		○		○		○		○		◎		○	○月次、◎年次
	⑤	定期清掃	①ワックス掛け（特養）	三和荘				○				○				○	
設備保守管理	①	消防設備	①定期点検	三和荘				○						◎			○機器点検 ◎総合点検
				出水			◎						○				
				三和苑	◎						○						
	②	建築設備	①建築設備定期検査	三和荘				○									
			②特殊建築物定期検査（1 回/3 年毎）	三和荘				○									
	③	防火対象物	①防火対象物点検	三和荘				○									
	④	エレベーター設備	①機器点検	三和荘	○			○			○			○		◎	○保守点検 ◎法定点検
				出水	○			○			◎			○			
	⑤	リフト設備	①機器点検	三和荘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○保守、◎法定
	⑥	空調設備	①機器点検	三和荘		◎			○			◎			○		◎保守点検 ○自主点検
	⑦	浄化槽維持管理	①定期点検	三和荘	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○保守、◎清掃
			②法定検査	三和荘												○	
	⑧	厨房機器点検	①機器点検	三和荘		◎			○			◎			○		◎保守点検 ○自主点検
				出水		○			◎			○			◎		
	⑨	防炎カーテン	①定期クリーニング	三和荘											○		
				出水											○		